

先 名 教育課長	ただいまより、令和5年第2回雨竜町総合教育会議を開会いたします。 開会にあたりまして、白川町長よりご挨拶申し上げます。
町 長	町長開会挨拶
先 名 教育課長	それでは協議事項に入る前に私の方からご説明いたします。
町 長	<p>令和3年からの会議によりまして教育に関連する雨竜町教育施策の説明、町長との意見交換の実施の2点を協議事項にすることを基本としております。今回の会議は、白川町長が本年4月に町長に就任することになった経緯を踏まえまして、町長との意見交換のみに絞って協議を行うことといたしました。</p> <p>このような方向性をもって今回進めることにご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>これより白川町長の進行により会議を進めてまいります。</p>
町 長	<p>それではただいまから私の進行により会議を進めさせていただきます。</p> <p>前回会議録の承認でございますけれども、出席委員の署名をいただいておりますので、承認済みといたします。</p> <p>次に協議事項に入ります。</p> <p>(1) 雨竜町長との意見交換となります。</p> <p>このことについて、教育課長より説明願います。</p>
先 名 教育課長	<p>今回の総合教育会議における町長と教育委員の意見交換ですが、去る5月31日に開催した第3回雨竜町教育委員会協議会において、教育委員各位に町長との意見交換について協議を行い、テーマを「これからの雨竜町の教育について」と設定することになりました。</p> <p>委員より自由闊達なご意見をいただき、町長とご議論した内容につきまして今後の町政や教育行政の参考にさせていただきたいと考えております。なお、今回の意見交換においては、委員と町長が教育に関する議論を深めることで今後における雨竜町の教育振興に寄与するための話し合いであることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>限られた時間での意見交換となりますが、双方有意義な形で行いたいと考えておりますので活発な議論を私の立場からもお願い申し上げます。</p>
町 長	<p>ただいま説明がありました。そのような考え方によりまして本日は意見交換を行いたいと存じます。</p> <p>テーマは「これからの雨竜町の教育について」です。委員の方からご意見があればお願いします。</p>
沖館職務 代 理	<p>前任の副町長時代から雨竜町の教育推進にご理解いただき、様々な雨竜町としての教育施策をこれまで行うことができました。ありがとうございました。</p> <p>委員の立場としてこれからの教育施策の流れを知り、今後様々な学習課題への対応や雨竜町独自施策に対する取組等に着手していただければ幸いです。</p> <p>そこで新たに町長に就任されました白川町長に、雨竜町の教育に対する考え方をお聞かせいただきたくよろしく申し上げます。</p>
町 長	<p>今そのような形で沖館職務代理から話がありましたので、私から「これからの雨竜町の教育について」話をさせていただきます。今現在私が考えていること、また、これまで関わってきたことについて話をさせていただきたいと思っております。</p>

町 長

私は昭和57年4月に雨竜町役場に採用になりまして、教育委員会の発令で公民館が事務所でした。1年と3か月過ぎました。高校卒業して右も左もわからないやんちゃな男でしたので、最初教育委員会に来た時、何するところかなと思ったんですけども、1年3か月いろんなことを経験をさせていただいて、そのあと企画の方、またそのあと産業の方ということで、平成17年の4月に教育委員会の方に、2回目の教育委員会勤務ということでした。結果的に5年勤務させていただきました。

思い返しますと、今も続いておりますが、日本ハムファイターズのキッズサマーキャンプが始まったこととか、平成20年には雨竜中学校女子のバレー部が全国大会に出場したりとか、野球もそうでしたし、吹奏楽もテニスもそうですけど、子どもたちが学校生活の中で活躍をしていた印象があります。

その都度、スクールバスの配車ですとか、けっこう大忙しだったなという感じもありますけれども、そのころから学校の施設の老朽化、耐震の関係もありましたので、そういう調査も進めながら、ちょうど平成22年の2月に施設一体型の計画を立てて、その後今の校舎になっていくわけなんですけれども、そういう計画の構想と計画に携わって、大変貴重な体験をさせていただいたなと思います。

その後、財政に移って、まさしく建物を移すときのお金をどうするかというようなことでしたとか、国の方でも当時いろいろな経済対策のお金が動いていましたので、それらを組み合わせながらということで施設が出来上がり、今年でちょうど10年ですか、当時の1年生が卒業して10年、月日の流れは早いものだと考えています。委員会の関係についてはそういう流れで、2回ほど勤務させていただいた所でありまして、学校教育に関わらず、社会教育の部分でも、大きな流れの中で来たかなというところでもあります。

今回、町長選挙に立候補させていただくにあたって、産業ですとか福祉ですとか教育ですとか、いろいろなテーマをあげさせていただいて、ひとつにはスポーツ、文化、芸術活動を応援しますという社会教育、生涯学習の関係なんですけど、通常でありますと芸術、文化、スポーツというどちらが最初かわからないんですけど、私の場合は最初スポーツから入りました。

やはりコロナの中で一番影響を受けたのではないかと思います。プロ野球ですとかサッカーですとかバレーボールも同じですけど、スポーツの観戦に対しては、まったくゼロに近いというような、大会そのものもできないというような活動を相当制限され、文化、音楽活動に関してもライブ活動、コンサート活動についてもほぼできないというような状況の中で、やはり普段の生活の中で、楽しみですとか趣味ですとか、それから生きがいやそういう普通にやってこれたものが、コロナになってできなくなったというような所で、皆さんが元気になれるように、それぞれの活動をみんなで応援しようという気持ちを込めて臨む所でもあります。

でも実際は、その間に会員の減少が続いたり、指導者が不足になったりとか団体活動そのものができなくなってくるというのが、加速したのではないかなという感じがします。よく言われますけれど、前に戻るか戻らないかということよりも、段々そういう厳しい状況が新しい形になってくるのかなと思います。普通に今までテレビで観戦するとか、それから直接行って参加する形についても、いろいろな活動が出てくると思いますけれども、やっぱり続けていくというのは難しいことかなと思います。

絵画サークルの竜美会がこのあいだご案内いただいたんですけど、23日から26日公民館で、これは第39回、本当に息の長い活動をされておりますので、その活動に賛辞を送りたいと思います。やはり、趣味の世界でもなかなか続けていくことや、みんなで固まって何かをするのが難しくなっておりますけれども、何か続けていくヒントがあるのかなと思います。

町 長

スポーツの部分では、スポーツフェスティバルが今回最後ということで、これも残念なことではありますが、皆さんと一緒に参加しましょうとか町内会対抗というのは、令和の時代では難しくなっているのかなと思います。実際本当に人が少ないというのが、現状だと思いますけど、新しいスタイルを模索していくことが必要になってくるのかなと思います。

もう一つは時代に対応した教育環境の整備というのも示させていただいて、これほどちらかというと学校教育に関係することかと思えます。環境は施設、建物だけではなくて、保護者の負担もありますし、教員の配置とかいろいろなそういう要因も含めて環境ということになろうかと思えます。

施設の面では校舎ですとか、備品ですとか、今はITの関係がありますのでシステム、それからそれに関連しますソフトウェア、そういうものの修繕改修更新というのは切っても切り離せないもので、順次進めていくということが必要かと思えます。ギガスクールという形とコロナの関係でWIFIの環境ですとか、そういうものが急激に進んだという所もありますけれど、やはりその中で導入したタブレットも更新が来ますので、関係するソフトウェアとともに随時更新していく必要があるという風に認識しております。

また、施設一体型校舎が開校して10年経ちますので、やはり元々の建物が昭和47年、48年、49年という時期に建てたものでありますので50年になります。新築したところは別ですけども、そういうことも考えていきますと将来的には、いろいろな所が劣化していきますので、環境整備に努めていく必要があると思っております。

また、子どもさんが大分少なくなってきた中で複式学級の可能性も出てきている、現実的に見えてきているというのもありますので、そこに対する教員、先生方の配置ですね。そういうものも独自の手当が必要になってくるのではないかなということも考えております。

先ほどの、スポーツ、文化、芸術の部分で関係しますけれど、学校の部活動ですね、部活動の地域移行ということも言われておりますけれども教員の働き方改革が主題では、なかなか難しいんじゃないかという所もあります。過去にも外部指導者という制度がありまして、導入している例はあまりなかったんじゃないかと考えます。やはり部活動そのものが教育の現場であるという捉え方をすると、今はいろいろなコミュニティスクールとか地域の人たちと一緒にやる機会ができましたが、地域の人が入ることに、どこかで一線引いて、学校の中と外の部分をすっきりと受け入れられない環境もあったのではないかなと思います。なかなかその外部指導も、うまくいっている所もあれば、難しい所もあるのではないかなという風に思います。

今でも外部指導という制度はあるのではないかなと思うんですけども、中には地域の人たちも活躍しているところもあろうかと思えますけれども、そういう面も含めて実際に子どもさんの数が少ない中で競技をやるにあたって団体となれば、一緒にやらなければならないという、そういうことの応援もしていかなければならないと思っております。

あと、地域的にはジュニアスクール、五十嵐塾さんが人気だということで、講師の先生もお元気でやっていただけることに越したことはないんですけど、いろいろなことも考えていく必要があるかなという風に思います。

先ほど私が2回目の教育委員会の時に日本ハムファイターズとのサマーキャンプがスタートして、もう18年、19年になります。当時のことを考えるとグラウンドも水はけが悪くてスタートから雨が降られて結構苦労した経過がありますけれど、半面そういうことによってグラウンドの改修がされたということもあります。そういう中で完全な野球場としての機能的にはなっておりませんが、そういう形の中で息長く続けておりますので、雨竜の子どもさんも一人でも多く参加していただければいいかなと思います。

町 長

この繋がりの中で学校法人田中学園との繋がりもできていますので、一昨日も田植えに来ていただいて、NHKのニュースにもなっているという大変ありがたい所ですけれども、この田中学園との連携が去年から始まって今年で2年目ということでありますので、経費もかかりますけれどもこれからの繋がりの部分ではお互いにとって良い方向を見出しながら、先の長い教育活動ができれば良いなと思いますし、また学校に限らず学校法人ということになりますといろいろな関係者がその法人を動かしていますので、学校以外の部分で雨竜の町にないノウハウですとかそういうものもいただければ、教育活動以外でも効果が表れるのではないかと期待もしております。

長い関わり合いと言いますとトロント日本人学校との繋がりでありますけれども、実際に人が行き来するようになって40年ですから、当時トロントとの同緯度の雨竜町に白羽の矢が立ったということで、それからずっと続いてきている。途中、SARSですとか東日本大震災というようなことで交流が途絶えたことがありまして、今回もコロナで途絶えたんですけど、また復活していけばいいなと思います。燃料価格によって渡航費用の問題もあると聞いておりますけれども、これも長く続けて行ければと考えております。

今までずっとやってきたことというのは、今後も続けていく必要があると思いますし、子どもたちに夢を、若者に希望を、お年寄りには安心をというようなキャッチフレーズを掲げさせていただいておりますけれども、子どもさんが雨竜を離れても「ふるさとりのゅう」に誇りと愛着を持ってもらえるような児童生徒の育成ということは必要かと思えます。子どもさんに限らず他でも言われるんですけど雨竜町と言うと「ひまわり」という言葉が返ってきて、子どもさんの中でも雨竜から出てよその学校に行ったり就職したりすると「ひまわりのね」と言われると、皆さん寂しい思いをしているって聞かれますけど、そういう面で「ふるさとりのゅう」に誇りとか愛着という所を何か見い出してあげられればと思います。

施設一体型の小中一貫教育というのは先行事例といいますか、その成果が表れて、子どもさんの成績の関係や先生方の関係を含めて、良い方向に向かっていて、いろいろところから視察だとか調査とか、また発表する機会もできて、これからもさらに充実する方向にしていかなければならないと思いますし、先生方、教育委員会の皆様方とともに進めていく必要があると思います。

あと、先ほども言いましたけれども、学校法人田中学園との連携によって、学校力の向上というように方針の中にも出ていますけれども、お互いの学校にとって良い方向になるようにしていくことが大事だと思いますし、また先生の交流といいますか田中学園の方からずっと来ていただいている先生もいらっしゃいますし、そういう先生方を通じて新しい方向性が見い出せば良いなと思います。

子どもたちが少なくなっていくんですけど、一人ひとりの子どもたちにとって、どういふ将来に向き合っていけるのかと思いますので、街づくり人づくり、そういう面でこれから学校教育社会教育通じて進めていければと思います。

もう一つ、今日高等養護学校の運動会に出席させていただきました。高等養護も開校40年の節目です。北海道立の雨竜高等養護学校ですけど、我々にとって何かできることを振興会を通じてできることがあれば良いなと、あそこにはやはり先生方のスキルですとか子どもさんの特性によつてのノウハウがいっぱいありますので、他の町から来ている子どもさんが多いですけども、子どもさんたちにとつても第二のふるさとというような高校3年間育つ生活する場所ですので、そこも少し意識しながらやっていく必要があるかなと思います。

うちの場合は幼稚園ではなく保育園ですけども、小学校に上がる前の保育園の環境整備も合わせて進めることによって、全体の子どもの幼児時代から小中というような流れになっていくと思いますので、その辺も併せて考えていくことが必要かなと思っています。

まとめませんがポイントとしてはそういう形で今現在思っているところであります。

沖館職務
代 理

今、いろいろな体力面だとか教育の制度、今うちも一貫教育を進めていますよね。そして今小中学校の先生たちが交流し合っているのもすごく良いことだと思います。

以前、英語指導助手のメアリティというアメリカから来た先生がいたんですよね。英語は毎日使わなければならないと、前にも言ったことあるんですけど、役場の人で、何人でもいいんですけど英語しゃべれるような人を何人か雇っていただきたいと。財源の話も、ふるさと納税については、雨竜は1億か2億くらいでしたか。白糠町では一貫校の教育として塾の先生を雇っていたとか、士幌町では認定こども園に英語の先生を配置したと。お金はふるさと納税を活用して、納めるときに教育だとかって選択できるんですよね。そういう形で財源を利用するとか。

やっぱり外国の人がいると、メアリティは日本語しゃべっていたけど、何か気楽にしゃべれたっていう感じがあったんですよね。

そんな形でいつでもふれ合えるようなような、あそこに行ったら英語話せるようになるというような、田中学園も英語ですから、そんな形でふるさと納税を利用してやることについて、町長さんどんなお考えですか。

町 長

今は国際協会通じてのAETではなく、民間委託の形にしていますので、今沖館委員が言われたように地元で住んでいただいて仲良くなってというのがあったと思うんですけど、なかなかそこまでなってないですね。協力隊の足立さんは小さい時からオーストラリアやアメリカに住んでおられたので英語は得意な方なんですけれど、ふるさと納税やクラウドファンディングとかこういうことやりたいんで寄付を募りますとか企業版ふるさと納税とかいろいろなことを駆使してやる方法はあると思います。

確かに今の国際的な部分でいきますと職員の中でもそういう人がいてもいいと思いますけど、そういう人が力を発揮できるような場面も作って行く必要があるかなと思います。いろいろな面で、いろいろな方法ありますので、財源の方法を考えていけば何か面白いことができるのではないかと思います。

沖館職務
代 理

部活も問題。僕は大きい学校にいたからそう思わなかったけど、雨竜に引っ越して来たらバレー部だって団体競技なのに一人しかいないとか。増やすことや人口を守っていくというのは非常に難しいと思うし、どこの町長さんも難しいと思います。農業でも商業でもそうですけど、やはり人口を増やすことはなくても、人口が減ることだけは少し減らしたいなと思っています。それについて難しいとは思いますが、町長さん交代していただいて、コロナやいろんなことがあって大変だけど、町長の考え方を話したければと思うんですけど。

町 長

住んでいただくことはもちろん大歓迎ではあるんですけど、仕事の関係ですとか家族の関係ですとか、そういう面で離れていくことがあるので、最近よく言われる関係人口とか交流人口ですとかそういうものを増やしていくことによってまた住んでみようかなとか、ふるさと納税や地域おこし協力隊もそうですけど、移住とか定住ってところの政策を組み合わせる必要があると思います。住んでいる人が減っていくっていうことは切実なところでもありますから、少しでも今いる人たちが元気である、元気で働いてにぎやかにやっていたら街の魅力も出てくると思いますので、他の町からも雨竜に住んでみようかなとか雨竜に行ってみようかなっていう人が増えるのかなと思います。

ここにいる人たちがしょぼんとしているといいイメージとして出ていけないので、明るい話題が出てくれれば新聞も取り上げてもらえますし、みんなが来ていただいて今SNSで拡散していただけますので、そういうポイントだとかイベントも組み合わせるっていうのが必要かなと思います。今回も皆さんが何か新しいものに取り組む時に小さいことからできることでも応援しましょうというような施策も、今6月の議会に出させていただきますを考えていますけれども、それがすぐ人口増につながるのかというのは別として、発信し続けるということが必要になってくると思います。

町長	<p>最近よく言う子育て支援の部分で、この6月の議会で今年から例えば給食費の話ですとか医療費の話ですとか出ているんですけど、先んじてうちの町がやっているんだけど、皆さんは無料の方に動いて行っている。確かに子育てしている方にしてみれば無料が良いと思いますが、片方では無料が本当に良いのかと思いますし、金額を無料にすることよりも中身をもう少し良くする、安定させる、長い目で見るとそっちの方が良いと思いますけど、皆さんの意見を聞くといろんな考えがあると思います。</p> <p>そういうことを進めながら南の方ではいろいろな例えば北広島のエスコンフィールドの周辺、すごい人口で日本一地価が上がった。千歳のラピダスの関係だとか今厚真町さんは社員さんの住宅をうちに建ててくれたとか、南の方はいろいろな誘致活動をしているので、そういうところはおそらく自然増が増えてくると思います。距離が離れれば離れるほど差が開くというところがありますので、そこをどうしていくかということがありますね。人数いてもガタガタといろんな問題も起きて来るといことがあろうかと思いますが、人数多いところは多いところなりの苦労なところもあると思いますけれども、皆さんに注目していただけるようなものがあれば良いと思います。そこがまだうちの町としては、先ほどの施設一体型の教育活動によって効果が表れて外に出るとか、学校法人田中学園との繋がりによって新しい人と人との繋がりができて関係性を持っていただけるとか、そういうところを期待したいと思います。ふるさと納税が急に何十億もとはならないと思いますし。</p> <p>うちの町も医療費の関係、給食費の関係、住宅の関係だとか、いろんな手当も出していますので、それらをもう少し磨き上げるといいですか、そういうことが必要になってくるかと思います。何もしないでいますと、じり貧になっていきますので、そこは皆さんと一緒に、いろんなお話を聞いて可能性のあるものについては取り組んでいく必要があると思います。</p> <p>外に出て雨竜町に関わっている人たち、東京雨竜会とか札幌雨竜会とか皆さんご高齢の方が多いため、いろんな繋がりがあろうと思うんですけど、もう少し若い人たちと一緒に帰ってきていただけるように、ちょっと掘り起こしてみたらと、例えば我々雨竜に残っている同級生とか、お互いに友達同士なら話ができると思っています。</p>
浦本委員	<p>毎年やっている東京雨竜会は何人ぐらい集まっているのですか。</p>
町長	<p>ちょっと私出席したことないんですけど、30人くらいでしょうか。</p>
浦本委員	<p>たぶんお年を召した方が多いのかなと思います。私の子どもも東京に住んでいて今埼玉で住居変わったんですけど、東京圏内に住んでいて雨竜会っていうのがあるよって娘に話したんですけど、誰から連絡くるのって言っていました。SNSでのやり取りは、やっているはずなんですけど、そういう方を通じて「ふるさとうりゅう」を広めていけば、そしたら行ってみようかっていう考えも出るので、今はもうとにかくそういう飛び越した遠いところの人に雨竜町のPRをする。インターネット時代ということはそういうことかなと思います。</p>
町長	<p>なにかやっぱり繋がっていくって、そういうところからっていうのがあると思うんですね。今個人情報関係もありますので、難しいところもありますが、昔は携帯電話がなかったのに同級生の中でもたくさんいるとすぐ話が広まる。今はSNSで広がる、そういう時代なのかなと。</p>

町 長	<p>歳を取ってから同級生のネットワークがSNSの中で出てきて、一線終わるといふかサラリーマンであれば定年になる年代ですけど、その頃になると元気だったとかありますから、もしかすると近いところでそういう情報が入ってきたりすれば、「ふるさとよりゅう」に思いを寄せてもらうことがあるのかなと思います。段々少なくなってくる「ふるさとよりゅう」の人がいなくなってくるんですからね。元はたくさんいたんですけど、雨竜で育った人が少なくなればなるほど「ふるさとよりゅう」っていう人が少なくなってくるので、今いっばいい間に何とかこっちの方に目を向けてもらえば良いかなと思いますね。</p>
浦本委員	<p>地元の人々の必要性を痛感しています。ジュニアスクールの関係で、現在五十嵐塾の五十嵐さんがやっています。子どもさんには町のジュニアスクールっていうのは非常に良いことかなと思っています。ただもう五十嵐さんも前回会議でお聞きしますと年齢75歳になってしまった。ジュニアスクールが始まったのが26、27年ですか、その当時の年齢ですと全然問題ないと思うんですけど、体調崩されてできないよって言われて子どもたち放り出されたら困りますので、そうなったときの体制をある程度考えていた方がいいと思いますし、ニーズ的に英語というのは絶対必要かなと思って、田中学園が今来ている、英語面の向上は連携することによっていい結果が出るなって思っていますし、ただジュニアスクールはせっかく立ち上げている町の事業で今現在五十嵐さんの教えているのは算数と数学、一時国語もあったと思うんですけど今チラシで募集の中身はほぼ算数で、読解力も大事で国語もしっかり、あと英語をプラス、その面をやりますって打ち出すと今現在13名くらいの受講生が、まだ増えるかなって思っています。</p> <p>ですから学習塾っていうのはだいたいその3つをいかに力をかけてやるかっていうのが、保護者の立場でも何となくそう思っていますし、その辺の教科を考えていただきたい。どうしてもお金がかかることですからインターネットの関係でインターネットを繋げて学力向上を図る、そういう方法も実際やっていると思うんですけど、保護者に対しての補助も選択肢の一つになるのかな。ジュニアスクールの体制があと数年でできないよって言われるのかちょっと心配な面があります。</p>
沖館代理	<p>先生がダメだというわけではないが、良い話も聞いたことがあります。あの人は悪くはないねって町外から来た人なんだけどいいねって。やっぱりそれにあつたような人、難しいとは思いますが、あの人は先生の経験はないけどそれなりに一生懸命やっている、時代が違うと言ったらそれまでかもしれませんけど。</p>
教 育 長	<p>ジュニアスクールができたのは、皆さんが家庭学習ができるような形で進めましょうって立ち上がっているんで、勉強とかそういう意味合いではないんですよ。家に帰っても家庭学習が定着しない。今、テスト前に一週間、テスト週間と位置づけして各家庭で何時間やりましょうと取り組んではいるんですけど、そういうのをやらないと家に帰ってどうやって勉強しているのかなとなり、その位置づけのためにジュニアスクールを立ち上げたもので、段々皆さんの考えがちょっとずつ要望が上へ上へ行くと一般の滝川の方にある塾と一緒にされると違うなって言う部分があります。</p>
沖館代理	<p>実際はそうだけど、平均点数を見たら、大分上がってきてるなと思うんですけど。</p>
教 育 長	<p>少しでも自分の行きたい学校を目指しながら、まずは点数を取らないと選ぶことができないので、小学校時代から少しずつ家庭学習をジュニアスクールに行行って少しずつやっていくという意味合いが一番強いのかな。預けている保護者も毎日勉強しなさいって言うよりも、少しずつでもステップアップしてくれれば助かるんじゃないですか。あまり要求を大きくするとちょっと厳しい部分があるというのが僕の思いです。</p>

沖舘代理	勉強するとか学力をつけるとか難しいですね。
町 長	せっかく地域にあるものなのでうまく次に引き継いでずっとやっていただくことに越したことはないんですけど、様子をうかがいながら比較的安価で保護者の負担を少なくできる方法を考えていくことが必要になってくると思います。
宮武委員	<p>自分の子どものころからみたら今の子どもは恵まれた環境でいろいろと先生方も指導の力が入っていたり、補助の先生が付いたり、そしてタブレットも入ってとても恵まれた環境だと思います。タブレットが一番最初に入ったのが5年前で、それから段々老朽化も進んで、うちの子どもが使っているタブレットが家でなかなかWIFIが繋がらなくて、いろいろ調べてもらって解消はできたんですけど、結局システムの更新が手動でないとできなくて止まっていた状態で繋がらなかった。その辺古くなっていくといろいろ、今の新しい3年前のと差が出てくるので一辺に更新というのは厳しいと思うけど順次時期が来たらお金のかかる話ですけどその辺は考えてほしいと思います。</p> <p>そしてもう一つ田中学園の関係ですけど、年間300万円の予算をとって、費用対効果っていうのは今後の話でしようけど、田中学園には、田植えや稲刈りもこっちでできるメリットがあって、雨竜にしても英語の教員が週一回派遣されたり体育の関係の映像も見せてもらえたり、あると思うんですけど、もう少し良い部分を取ればなって言う感じもしました。</p> <p>もちろんうりゅう米を北日本食糧さんの給食の方で使ってもらっているのは、非常に雨竜にとってはありがたいことだと思います。今後も継続して使ってもらえる要請をしてもらいたいと場合によっては子どもたちに1キロなり5キロでもいいので配って食べてもらったら保護者も味を覚えてもらえるのかなって、子どもたちはもちろん味を覚えてこの米はうまいって話にはなっていると思うんですけど、保護者も少し食べる機会があれば、もしかしたら買ってもらえる可能性もあるのかなって思いますので、今後ともよろしくお願いします。</p>
町 長	<p>タブレットは、私たちが職場で使っているパソコンもそうですけど、どんどん更新していかないと、あとはサポート期間もありますからね、これは外せないものだと思います。これからも遅れることなく整備していく必要があると思います。田中学園の費用対効果の部分ですけど1年目どうだった、2年目どうだったと注目されていることなんで、宮武さんが言うように雨竜町にとってのうま味の部分、それを先ほどの学校以外の所から何かできないかと思っているところなんですけど、あそこにはいろんな企業がかかわっていますので、それはまた教育の会議とは別ですけど、うりゅう米の使用の給食の部分、道の駅の方でも子どもさんが田んぼで田植えしに来た、見に来た、実際にそこでお米を買って行ってくれた方は実際にいらっしゃるようですね。そういう人がどんどん増えて行ってくれればいいと思いますし、一部コストの関係もあるのかなと思いますけど、逆にそこに対する支援する形にすれば、これから生徒さんも増えますし、そこはずっと学校が続く以上は給食も続くと思いますので、選んでいただけるように努力していきたいと思っています。</p> <p>中にはサンタクロースにうりゅう米頼んだっていうお子さんもいらっしゃったようですが、そういうファンが増えて来るっていうことはありがたいことだと思いますけど、お互いに関係になれるものないかって、向こうも手探り、こっちも初めてって、金額的なもの一番最初に考えた時どうやって説明すればいいのかなっていうのはありましたね。費用対効果の所では、細分化していくとか、もう少しお互いのリクエストを出し合うとか、そういうことが必要になってくると思うんですけど、それもいろんな普段からの繋がりがなくてどこまで腹を割って話ができるかとそここのところに係ってくるかと思っています。</p>

町 長	それでは、予定の時間が来ましたので何かもしあれば。
全 委 員	(なしの声あり)
町 長	<p>これに限らず、会議以外にも寄っていただいているいろいろなお話を聞かせていただければと思いますし、呼んでいただければ行きますので、いろいろなお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、令和5年第2回雨竜町総合教育会議を閉じさせていただきます。 ありがとうございました。</p>